

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社こすもす	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所 こすもすの家
所在地	(〒 920-0017) 石川県金沢市諸江町下丁 88 番地 1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

事業所の特徴として通いサービスを中心にしながら、必要に応じて宿泊サービスや訪問サービス、訪問看護を受けることができる一体化の在宅支援サービスを提供できます。

医療依存度の高い方でも在宅を中心に安心して暮らせるように一体的で質の良いサービスを提供していくことに力を入れています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 ____ 2 月 ____ 2 5 日	従業者等自己評価 実施人数	(____ 1 2 ____) 人 ※管理者を含む
----------------	-------------------------------	------------------	-----------------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 ____ 2 0 2 5 ____ 年 ____ 9 ____ 月 ____ 1 7 ____ 日	出席人数 (合計)	(____) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (____ 3 ____ 人) ☐ 市町村職員 (____ 1 ____ 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (____ 人) ☐ 地域住民の代表者 (____ 1 ____ 人) ☐ 利用者 (____ 人) ☐ 利用者の家族 (____ 1 ____ 人) ☐ 知見を有する者 (____ 1 ____ 人) ☐ その他 (____ 人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
				自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・人材育成で中長期目標を立てる ・研修参加できるように時間帯の工夫をする ・全職員への情報共有についてどのような情報ツールが1番伝わるのか検討する ・常勤への負担が多いと感じているため業務の見直しをする ・災害時の緊急の動き方が周知されていないので個人が動けるようにする	・今年度の目標に対して研修参加を計画する ・情報共有のルール作りをする ・業務見直しを行い、負担軽減になり働きやすい職場環境を整える ・管理職、安全委員会を軸にマニュアルを整え個人個人の役割を知る	・おむつフィッター、Poo マスターの資格取得ができケアの向上につながった ・情報共有のノートの活用記入時のルールづくりをした ・夜勤業務の見直し、リーダー業務の見直しを行った ・災害時のアクションカードの作成、そのアクションカードを利用した避難訓練の実施	・新人育成計画はマニュアルも大切です。賞も大切にほめてモチベーションを上げることも必要。研修に参加しそれを現場に活かせたという結果も必要。またエキスパートの育成しさらに事業所の強みにしていけばよいのでは ・災害時夜間一人でも動けるのかどうか。シュミレーションも大事だと思います
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・利用者の介護看護計画について個別性が現れた計画ができていないことがあり看護、介護で話し合って立案していく ・利用者の状況変化を早期に把握しても、計画への反映が迅速ではないため、早めに計画変更するように看護、介護で声を掛け合う ・終末期ケアにおいて、家族の	・お互いの職種の強みの意見を出し合い、介護・看護で話し合いをし計画書に反映させ実施できるようにする ・受け持ち介護・看護で声を掛け合い計画も変更が必要な時は迅速に対応する ・終末期ケアの家族の意向をしっかりと傾聴し、記録に残	ご本人、家族の思いをそれぞれの立場で傾聴しアセスメントできている 看護師は医療的な見方、介護士は生活を支える目線でお互いの意見を共有している ・主治医とも連携を取り病状に合わせた話し合い、本人ご家族の思いは記録に残すよう	・職員への周知方法の具体策は？実施計画はどうなっているのか

		意向の記録が十分でないため しっかりと整えていく	していく	にしている	
	2. 多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ～31)	病院。施設との連携はしっ かりとできているので今後も継 続していく	- すべての利用者に緊急時の 対応方針を立てる - 在宅医との連絡は定期的に MCS という医療者ツールで 行っている。報告を密に行う - 病院の相談員と電話連絡を 行うようにする - 地域包括との連携ももつ	- 他機関・多職種との連携は 密にできている - 地域包括との連携はあまり とれていなかった	Ns はより医療に近い立場で 医介連携の要になりうる
	3. 誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画 (評価項 目 32～41)	地域住民向けの積極的な啓 発活動がなかなかできていな いため、次年度はボランティ アの方をおよびしたときなど ほかの事業所や地域の方への 案内をする	- 地域活動にも積極的に参加 していく - 他の介護事業所との連携 - 今後も医療依存度の高い利 用者の受け入れを行い療養生 活を支える	- 地域の行事への参加ができ ていない - といやまち小規模多機能事 業所との連携が構築されつつ ある。 - 運営推進会議においてそれ ぞれの立ち位置からの助言な どいただきながら検討してい く。また職員にも伝達する	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		ご家族の気持ちをこまめに聞 きながらお泊り、通いや訪問 をしっかりと組み合わせて、そ の人にあったサービスを提供 している	看多機の強みである「通 い」「泊り」「訪問」を組み合 わせ、本人・ご家族の意向を くみ取り安心して在宅生活が できるようになる	家族の不安な気持ちに寄り 添い安心感を持って在宅生活 を送ってもらえるよう対応す る	いつもありがとうございます どんなことも話せる、相談で きる関係がとても大切だと思 います。相談したことがほか の職員に伝わっていると情報 の共有ができているなど安心 します。ただ全職員（関係す る）と共有するのはとても難

				しいと思いますがいろいろと工夫されていると思います。 ・家族は心身ともに同じ状態で帰宅してほしいと思う
--	--	--	--	---

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・看多機の特徴を踏まえてのサービスの実践はできている ・人材育成に関して、育成計画に対する具体的な取り組みができていない。また新人育成にもばらつきがあるため今後は改善する必要がある。 ・当事業所が強みにしている「排泄ケア」「ノーリフト」についての研修にも参加し資格取得ができ、ケアの向上につながった ・夜勤業務、リーダー業務の見直しを行い業務改善につなげた ・介護、看護での情報共有についてももう少し共有できる機会があるとよいと感じている ・安全管理の徹底ができておらず、安全対策の構築途中であり具体的に対応方針を共有していく必要あり	・今後も医療依存度の高い利用者受け入れをし、看護師・介護士の専門技術の向上のための取り組みを行う。今後も「排泄ケア」「ノーリフトケア」は大切にし技術の維持に努める。 ・人材の育成について育成計画ができておらず、介護士・看護師それぞれの育成手順を作成し、個人個人の年間研修計画を立てる ・看護、介護での情報共有するにはどうしたらよいか、話し合い業務改善も含めて時間の確保をする ・災害等の緊急時の体制の手順はできているので実際に動けるように職員皆で意識し訓練を行う
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・介護、看護のお互いの意見を両職種間で共有はされているが、部分的な情報共有になりやすく全体として共有できていない ・利用者の有する能力を最大限に活かした計画の上思いに寄り添った援助ができています ・利用者の状況変化への迅速な対応はできているが、通い泊りの利用者の把握はできるが在宅の状況を知らない職員もいる ・利用者によっては看多機のサービスの趣旨が理解できない方	・介護・看護の利用者の受け持ち制を生かし、それぞれの視点からの意見を伝えあい、実施したアセスメントを両者でしっかり共有する ・新規受け入れの際にはしっかりと看多機の特徴を説明し、ご利用者、家族にも理解していただけるよう配慮する ・終末期の受け入れの際は、本人・ご家族の思いを常に傾聴し、対応方針を多職種でしっかり情報共有し、それを職員全体で支

		もおられ、説明の在り方の難しさがある ・終末期における対応方針や利用者、ご家族との相談や共有はできている	えることができるような職場の体制を作る
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・病院・居宅介護事業所・在宅医と連携し円滑で切れ目ないケアの提供はしている ・急変時の対応も連携医師としっかり共有するようにしている ・運営推進会議にて包括的なサポートについて情報提供は行っているが、職員にはあまり周知されていない ・多職種連携について職員全員への周知はしっかりできていない	・今後も他機関・多職種との切れ目ない連携体制をとる ・急変時の対応もしっかりと連携機関と情報共有を普段から行っておく ・運営推進介護での意見をミーティングで皆へ周知する ・職員一人一人に認識度を知り、皆が理解できるよう体制を整える
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・地域への情報発信がまだまだできていない。地域への行事参加などもできていない状況である ・医療ニーズの高い利用者の受け入れの体制は取れているが看多機全体の受け入れ状況も考えると、重度の方ばかりの受け入れは不可能である。 ・地域包括システムの構築ができていない。近隣住民とのかかわりもあまりできていない	・地域の方との災害時の関りなどの体制の強化、避難訓練に参加してもらったり、行事に参加してもらうなど、近隣住民との関わる機会を増やす ・医療ニーズの高い方の受け入れ体制は十分できているが、全体の利用者介護度のバランスも見ながら、サービスが偏ることのないように配慮する
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・サービスの導入により利用者ごとの計画目標はほぼ達成できている ・24 時間 365 日連絡が取れ、必要に応じて訪問する体制を整えている。利用者、家族が安心して在宅での療養生活ができるよう配慮している	・今後も 24 時間 365 日連絡が取れ、必要に応じて訪問する体制を整えている。利用者、家族が安心して在宅での療養生活ができるようかかわっていく ・

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】						
(1) 理念等の明確化						
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践						
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	3	9			・医療依存度の高い利用者の受け入れはどのくらいでデータはあるのか？
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・病気により身体的な機能を失ったが、「トイレで排泄したい」等といった利用者の想いに寄り添って実践している。 ・医療依存度の高い利用者の受け入れが多い。また看取りの支援もよく行っていると思う。 ・吸痰、創傷ケア、胃瘻栄養、内服管理や全身状態のケアなど医療ニーズの高いご利用者に対して訪問サービス、通所やお泊まりのサービスを提供している。 ・利用者や家族さんが体調不良の時は、急な泊まりに応じ、家族の負担軽減に務めている。				
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	10			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・カンタキならではの利用者さんの生活が把握しやすく、個別性にあった看護が提供しやすい。 ・ケアマネ、所長、その他職種と連携し利用者、家族の想いに寄り添ったサービス提供をしている。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
		・看多機の特徴はよく理解できていると思う。理念も踏まえたうえで関りができていると思っている。 ・急な予定変更に対応している。				
(2) 人材の育成						
① 専門技術の向上のための取組						
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	7	3	1	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・研修を受けた方から情報を提供して頂く。 ・新人教育については、教育計画を立て日々達成度等確認をしている。これからも力を入れたい。 ・面談は行っているが育成計画の作成はできていない。 ・育成計画に対する具体的な取り組みをあまり知らないです。 ・必要な研修に積極的に参加してもらっている。また、その学びを事業所内で共有している。 ・新人マニュアルなどがないため教え方にばらつきがあるし教わる方も不安だと思う				
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	9	1		・研修をしっかりとインフォメーションすることが必要
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・研修時間が夜間のため参加するのが困難だが、委員の方は計画して下さり熱心である。 ・希望する研修会への参加に積極的に参加させてもらえる環境だと感じています。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
		・研修への参加を促している。				
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保						
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	2	8	2		
[具体的な状況・取組内容] ・ほうれんそうがしっかりできている。 ・相談等話し合いたいことは自身からも発信し、コミュニケーションを図るようにしている。話し合いの時間の確保が曖昧なため、これから確保できるとよい。 ・三者間だけでなくリハ職も加わりいろいろな意見が出ていると思う。 ・個人個人で話す機会や月1回のミーティング、連絡ノートなど情報を共有する機会はあるが充足度としてはもう少し共有できる機会があれば良いと感じます。 ・日々カンファレンスしている。 ・ミーティングで気になる利用者の話し合いがもたれている。						
(3) 組織体制の構築						
① 運営推進会議で得られた意見等の反映						
6	○ 運営推進会議で得られた要	1	7	4		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
	望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・運営推進会議の伝達がきちんとできていない。 ・運営推進会議での話はミーティングで参加者が情報を共有し、普段の業務に活かしていると思います。				
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備						
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	5	5	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・子が体調不良の場合や用事の際は休みやすいよう、いつも配慮してもらっている。職員の労働時間にも配慮してもらっていてありがたい。 ・時短勤務ですが、職員の色々な方が労働時間への配慮をして下さりととても有難いです。業務に対する不安等に対しても相談しやすく、話を聞いてもらえるとても恵まれた環境です。				
(4) 情報提供・共有のための基盤整備						
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備						
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	9	2		・利用者の最新情報の更新 看取りの時の変化とか、ノートと MCS の活用
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・直接的コミュニケーション、共有ノート、LINEでの共有。 ・情報の更新は連絡ノートで随時されている。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
		・更新している情報の整理に問題を感じる。 ・共有ノートや必要時、LINE を使用し情報共有を行っている。				
(5) 安全管理の徹底						
① 各種の事故に対する安全管理						
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		7	5		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・安全管理委員会が設けられている。管理者への報告、相談、連絡が行われている。 ・安全対策の構築途中である。 ・ヒヤリハットがあった場合、ホワイトボードにしばらく貼り付けることで、以前よりも職員に周知されるようになったと思う。				
② 災害等の緊急時の体制の構築						
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	8	3		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・訓練はしているが実際災害になったら動けるか不安である。 ・各種マニュアル作成中であり、公開している。 ・緊急時や災害時のマニュアル化ができ具体的な対応が分かりやすくなった。 ・実際に稼働できるマニュアルがない。				・マニュアルは速やかに。行動、実践へ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
		・最近、災害時のマニュアルが出来、それを使って 訓練も行われている。				
Ⅱ サービス提供等の評価						
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供						
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成						
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施						
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を含 む、利用者等の 24 時間の 暮らし全体に着目したアセ スメントが行われている	3	7	2		・職員が同じことができることが質の向上
		[具体的な状況・取組内容] ・電話当番で 24 時間体制あり、ケアマネと看護師、 介護士で協働している。訪問時、家族と会話をし、 困っている事等把握するよう努めている。 ・家族の思いも含めよく傾聴し、アセスメントでき ていると思う。 ・ケアマネさんをはじめ介護、看護の職員が本人と ご家族の話を聞いて生活状況や家族状況を把握し アセスメントされていると感じます。 ・情報として持っているが、その情報整理ができて いない。				
12	○ 介護職と看護職がそれぞれ の視点から実施したアセス メントの結果が、両職種の 間で共有されている	1	9	2		・多職種連携の意識が高い
		[具体的な状況・取組内容] ・看護師は医療的な見方で、介護職は生活を支える 目線でお互いの意見を共有している。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
		・常日頃コミュニケーションを図ることでアセスメントの確認や、考えを共有できている。介護士からの日々の疑問をキャッチできるよう意識を向け、看護師のアセスメントについて伝えるように意識している。 ・個人個人で情報共有することはあるが、部分的な情報共有になりやすく全体としては共有できていない部分もあるように感じます。				
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	2	10			・ ACP 人生会議
		[具体的な状況・取組内容] ・訪問時に家族の想いを聴き、家族の立場を理解し、ケアに生かしている。 ・ケアマネさんを中心に目標達成に向けて計画が作成されている。 ・個人的なお花見など、利用者、家族の要望に応じ行われている。				
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	9	1		
		[具体的な状況・取組内容] ・トイレで排泄したいという想いに寄り添い、援助している。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成						
15	○ 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏ま えた計画が作成されている	2	9	1		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・既往歴をみてリスクの可能性を考えておく。 ・訪問診療で話し合った内容を看護師、介護士で共 有できるようノートに残したり、直接伝達してい る。
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践						
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映						
16	○ サービス提供を通じた継続 的なアセスメントにより、 利用者等の状況変化を早期 に把握し、計画への適宜反 映が行われている	1	10	1		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状態変化があった場合は医師に報告、また病院へ 受診を勧めている。
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映						
17	○ 通い・泊まりの利用に過度 に偏らないよう、適時適切 に利用者宅を訪問すること で、家族等を含めた居宅で の生活状況の変化を継続的		11			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアマネさんと家族が話し合い予定を作ってくれ ている。 ・ケアマネはその利用者に応じたサービスの提供が

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
	に把握している	考えられていると思う。 ・訪問による居宅での生活状況把握は概ねできていると感じるが、通いや泊まりが主で在宅の状況をあまり知らないご利用者も部分的にいらっしゃる。				
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有						
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	8	1		
		[具体的な状況・取組内容] ・MCS や電話等で情報共有できている。 ・MCS の活用				
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供						
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供						
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	10			
		[具体的な状況・取組内容] ・日々協力できている。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
20	○ 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情 報を共有し対応策を検討す るなど、両職種間の連携が 行われている	2	9	1		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状態変化があった時などは互いに情報共有、対策 の検討がなされていると感じます。
② 看護職から介護職への情報提供および提案						
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	2	8	2		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者さんでも分かりやすく情報を伝えている。 ・看護職からの情報発信がある。 ・夜勤者への申し送り前に、状態変化のある利用者 のことは、介護リーダーに伝えている。
(4)利用者等との情報及び意識の共有						
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供						
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく 説明し、利用者等の理解を 得ている	1	9	2		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者によってはカンタキを理解し辛い様子もあ り、(病院のような場所だと思われることがある)何 度も説明を繰り返しても理解できない方もおられ るので、そこはなかなか難しいのかと感じる。 ・ケアマネさんを中心によく話し合いをされている と感じます。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明						
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	10			
[具体的な状況・取組内容]						
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	10			
[具体的な状況・取組内容]						
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有						
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	2	10			
[具体的な状況・取組内容] ・意志がしっかりある時の気持ち等、家族に確認している。これまでの生活史を知ろうと関わっている。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	3	7	1		
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネが看護師であるため、病状に合わせた話し合いもしっかりと報・連・相をとっている。				
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	3	8			・フォーマットにすればどうか
		[具体的な状況・取組内容] ・状態が変化した場合は家族に連絡し、ノート又は伝達ノートに記載してある。				
2. 多機関・多職種との連携						
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供						
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行						
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	4	7			
		[具体的な状況・取組内容] ・ご家族との面談や退院カンファレンスに参加している。				
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている	3	8	1		
[具体的な状況・取組内容] ・ 緊急時の対応はできている。						
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築						
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	3	9			
[具体的な状況・取組内容] ・ 24時間体制でオンコールあり緊急体制がとれて いる。						
(2) 多職種との連携体制の構築						
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討						
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包括 支援センター・市区町村職 員等への情報提供や提案が 行われている		6	5		
[具体的な状況・取組内容] ・ 管理者とケアマネしかわからないかもしれない。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画						
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案						
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信						
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		6	6		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・月に1度ミーティングで議事録が出ている。				
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		3	8		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・SNS の活用などされている。				
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮						
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供						
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		9	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・カンタキ以外でも訪問看護として訪問している利用者さんも数名おられる。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ						
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	5	7			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護スタッフも吸引研修を受けておられ、介護さんでも対応できるようにしている。
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	1	5	3	2	
						<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・夜間は無理だが、日中は受け入れできている。 ・通いサービスはできるが夜間は介護職の夜勤もあるため現在お泊りはできていない。 ・人工呼吸器使用者については、泊まりは受け入れていない。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	7			
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・現在も看取りの方がおられ、家族が希望すれば受け入れている。				
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画						
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解						
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	3	7		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2	5	4		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
		よく できている	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていない	
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		1	10		
		[具体的な状況・取組内容]				
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		3	8		
		[具体的な状況・取組内容] ・家族ができることは支え、できない所はスタッフが補っている。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
Ⅲ 結果評価						
① 計画目標の達成						
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない				
			11			
		[具体的な状況・取組内容] ・ だいたい達成できている。				
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感						
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない				
		2	10			
		[具体的な状況・取組内容] ・ 心配があれば家族の話を聞いたり、ケアマネと相談できている。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない				
		3	9			
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・在宅での情報の提供。 ・家族の不安な気持ちに寄り添い、急な泊りもできるように配慮している。				

評価の結果、「できている」と感じた点や、日頃から特に力を入れている点

- ・利用者その家族が、安心して在宅生活を送れるよう様々なサービスを提供する。
- ・看護師、介護士、リハビリ、協働し専門性を発揮できるように日々コミュニケーションを図ること。利用者の生活を知ること、支えること。
- ・看取りも含め医療ニーズの高いご利用者に対して、ご利用者やご家族の話をよく聞き安心感のあるサービスが提供できるよう職員みんなが務めていると感じます。
- ・看護職・介護職間の情報共有
- ・災害対策に関して委員会で携わっており、出来る事やれる事を確実に増やしている。

評価の結果、「できていない」と感じた点と、改善に向けた取組案

- ・管理者、ケアマネさんに頼っている部分が多い。カンタキでは看護師がしなければならない業務内容が多い部分もあり、介護士と分担することで管理者、ケアマネの役割を看護師もできたらと思う。
- ・職員間の情報共有、他職種で意見交換ができるケースカンファの機会があってもよいのではないかと感じました。
- ・地域との交流
- ・地域への発信や安心したまちづくりに関しては関わっていないので、そもそも分からない。